

8 働く人から学ぼう

～職場体験・地域で働く人との交流などを通して～

対象学年：第2学年

1. 題材：職場体験

内容 (3) 学業と進路

- ア 学ぶことと働くことの意義の理解
- エ 望ましい勤労観・職業観の形成

2. 題材について

(1) 生徒の実態

2年生はキャリア教育の一貫で職場体験を行っている。その取組を通して「働くこと」や「進路」について考えてきた。多くの生徒は「将来就きたい職業」を考えているが、「なぜ働くのか」や「働くために必要なこと」については、漠然としか捉えられていない生徒が多い。

また、あいさつや決まりを守ることを意識させているが、あいさつの声が小さいことや臨機応変な対応ができないなど、社会に出ていくうえでの課題が残っている。

(2) 題材設定の理由

生徒の実態から、今後、自分の将来の生き方や生活について様々な選択ができるように、学ぶこと、働くことの意義を理解し、日常生活をよりよいものにしていくことが求められる。

そのため、職場体験を通して実際に「働く」ことで、やりがいや大変さを感じさせる。そして、職場体験を振り返らせる中で、働くために必要なことは日常生活に必要なことでもあることに気付かせたい。そして、これからの日常生活をよりよいものにしていくという態度や考え方を身に付け実行させていくためにこの題材を設定した。

3. 指導のねらい

職場体験を振り返り、生徒同士で意見交換し、「働くこと」を多角的に捉えられるようにする。また、個人の課題をはっきりさせ、日常の生活の中でそれぞれの役割を果たせるようにする。この活動を通して、将来、社会人として自立していくために必要な能力や適切な態度の理解を深め、望ましい生活態度の形成を図っていく力を育てる。

4. 学級活動(3)の評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団や社会の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
人間としての生き方や学ぶこと、働くことなどに関心を持ち、自己のよさを伸ばしながら、自主的、自律的に日常の生活や学習に取り組もうとしている。	自己の将来に希望を抱き、その実現に向け、現在の生活や学習を振り返り、これからの自己の生き方などについて考え、判断し、実践している。	学ぶことと働くことの意義や、自己の能力や適性、進路選択に必要な情報収集や将来設計の仕方などについて理解している。

5. 指導の過程

(1) 本時の指導と生徒の活動

① 本時の活動テーマ 「職場体験を振り返り、今後の生活を考えよう！」

② 本時のねらい

職場体験の課題や成果を振り返ることで、将来働くために必要なことに気付き、これからの日常生活の中で、それぞれの役割を果たそうとする意識をもたせる。

③ 本時の展開

	活動の内容	指導上の留意点	目指す生徒の姿と評価方法
活動の開始 10分	<p>* 本時の活動の流れについて説明を聞きテーマを知る。</p> <p>1 【ワークシート】「職業体験を終えて」に取り組む。</p>	<p>〈本時の活動の流れ〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 体験内容の振り返りをする 2 発表・意見交換をする 3 「働くこと」を考える 4 今後の生活に見通しをもつ <p>・ 全体の場でエピソードを紹介し合い、職場体験の様子を共有し合う。</p>	
活動の展開 30分	<p>2 【ワークシート】「職業体験から学んだこと」に取り組む。</p> <p>(1) グループ内で発表しあい、班員の発表をメモする。</p> <p>(2) 考えたことを記入する。</p> <p>3 【ワークシート】「働くこととは」に取り組む。</p> <p>(1) ワークシート①～③に取り組む。</p>	<p>・ 体験前は黒色で、体験後は赤色で自分の欄を記入させ、変化を見とれるようにする。</p> <p>・ どの職種も同じようなやりがいや苦労があることを感じとらせる。</p> <p>・ 数名の生徒に発表させる。</p> <p>・ 働くために必要なことを考え、これから何をしなければいけないのかを考えさせる。</p> <p>・ グループで課題を共有させる。</p>	<p>* 【関心・意欲・態度】</p> <p>・ 他者の振り返りを聞き、理解を示したり、考え方を受け入れたりして、関心をもって取り組もうとしている。</p> <p>【観察】 【ワークシート】</p>
活動のまとめ 10分	<p>(2) ワークシート④に取り組む。</p>	<p>・ 将来働くために必要なことを考え、これからの生活の改善につなげていく。</p> <p>・ 伸ばしていきたいことでもよいことを指示する。</p> <p>・ 全体の場で発表する。</p>	<p>* 【思考・判断・実践】</p> <p>・ 自分の課題が明確になり、今後の生活でやらないといけないことに気付くことができる。</p> <p>【観察】 【ワークシート】</p>

*編集委員が実践した際の評価規準は「**ゴシック体(太字)**」で示しています。他は設定可能と考えられる観点です。

6. 本題材の工夫例

職場体験前にやりがいなどを記入させることで、体験する前との比較ができ、より自己の課題がはっきりとわかるようになる。

また、異なった職種でグループを作ることによって、より多角的に「働くこと」を捉えさせることができ、ねらいにせまる活動ができる。

*実践例

- | | | |
|---|---|---|
| 〈どのような力が必要だろう〉 | → | 〈やらないといけないこと、変えなければいけないこと〉 |
| ・臨機応変に行動できる力 | → | 予定外のことが起きても落ち着いて行動する |
| | → | 常に考えてから行動する |
| ・コミュニケーション能力 | → | もっとたくさんの人と積極的に話す |
| | → | 相手の目を見て話したり、あいづちを打つようにする |
| ・周りを優先して行動できる力 | → | 周りに気が配れるようにする |
| ・いろいろな事を集中してやる力 | → | 家での過ごし方を変えていく |
| ・率先して行動できる力 | → | いろいろなことにチャレンジして、失敗して成功する |
| ・自分から行動して、判断し、周りにも気を配り、やるべきことなどを考えて動ける力 | → | 普段の生活で素早く判断して、周りをよくみて
考えて行動することを心がける |
| ・自分の取り柄をアピールする力 | → | 積極的に何をするか考えて行動できるようにする |

7. 本題材に使用したワークシート

【ワークシート】 「わたくしたちの生活と進路（平成 28 年度版）」

＜ 8. 働く人から学ぼう ＞ワード版を加工

8 働く人から学ぼう ～職場体験を通して～

職場体験活動などを通して、社会の中で活躍する人々に接し、みなさんは働くことの喜びの大きさや責任の重さなど、たくさんの方に気付いたことでしょうか。今回は学んだことを友人と発表しあい、考えを深めましょう。

職場体験を終えて



職場体験で出会った素晴らしい出来事をみんなに伝えましょう。

班員のエピソードを書いてみよう

- 1 90代の方の人生のお話がすごくしみみりした。(スマイル池上)
- 2 羊に会った(若耕人's)

職場体験から学んだこと



話し合ってみよう


体験してみて仕事の内容や気付いたことを下の表に整理して記入し、班員と発表しあいましょう。

	自分 (体験前: 黒、体験後: 赤)	班員		
職業	郵便局員	老人ホーム	飲食業	農業
仕事の内容	郵便局員の仕事全般 ・チラシ折り・配り・窓口対応 ・お礼返し	・会話し ・お茶出し ・ドライヤー ・体操	・接客・盛り上げ ・洗い物 ・オーダーをとる ・料理を作る	・畑をわらわ ・草むしり ・収穫 ・たがやす
仕事のやりがい	気持ちや荷物と一緒に届けられること。 お客様の喜ぶ顔が見られること by 局長	「ありがとう」を言われたとき	「おいしい」と言われたとき	自分で育てて収穫した野菜を売りに出すこと。
大変なことは何か	・3つの仕事をやりこなすこと (郵便、貯金、保険) ・全部大変な仕事。だけれどやりがいがある。 by 局長	人の命をお守りしていること。 自分の体の自己管理。	立ちっぱなしなど。 自分の体調管理。	・畑をわらわ ・草むしり
○役に立てる自分の能力 △足りなかったこと △は事後のみ	・細かい作業が得意。 ○ 集中力。 ○ 声が大まか △ 積極性が少な〜	○人と上手に閉めることができること。 △ 下利やキと動けな時間があること。	○ 素早く行動できること。 △ 大きな声が出る時と出ない時があること。	○ カ仕事。

職場体験をして感じたこと	班員の話しを聞いて考えたこと
<p>局長さんが「全部大変な仕事だけれど、全部ヤリがいがあるんだよ」とおっしゃっていただけで、本当にそうだと思う。金額を読み上げるのも、間違えないうかがいハテハテする作業を速くかつ丁寧にしようとお客様を不快にさせないように接客業の大変さを感じた。でも、「頑張ってるね〜」などと言って</p>	<p>いろいろな職業だから、それぞれ違ったことを言っていたけれど、「ヤリがい」では、皆、「お客様に喜んでもらえること」のようなことを言っていて、それぞれの職業でも共通のことなんだな〜と感じた。自分はあまりそういうことを言わなかったりすることはなかっただけで、生活でも人に喜んでもらえたりするとうれしいので、少し分かった。</p>

くださるお客様もいて、ヤリがいも感じた。

『働くために必要なこと』とは

 働くことにはどんな意義があるのでしょうか。また、どのような課題があり、その解決に向けて今、できることは何でしょうか。自分の考えをまとめてみましょう。

『働くために必要なこと』は？
自分の考えをまとめてみよう

- ① 職場体験の取り組みを通して、「働く」ことについて、どのように感じたり、考えたりしましたか。

人のために、役に立つことをやって、社会に貢献することだと思った。もちろん、お金のためということもあるかもしれないけれど、局員さんや局長さんの、働く姿には、人の役に立つ!! という気持ちがあふれていて、格好良いと思った。

- ② ①の働くことを考えたときに、職場体験を通してどのような課題が見つかりましたか。

- 中途半端な自分の気持ち。
-
-

- ③ なぜ、それが課題だと思ったのですか。

局長さんが、「2万4千の頂点にたりたい!!」とおっしゃっていて、それに比べて自分はそういう志を少しでも持っているだろうかと考えさせられるところがあったから。

- ④ 職場体験や本時の取り組みを通して、これからの日常生活を考えよう。

a: 将来の生き方がよりよいものになるために、どのような力が必要だろう。

何事も努力して、向上心をもつ力が必要。

「これで良い」と現状に満足せず、より良い方向へ努力していくことが大切なことだと思う。

b: そのために、今やらないといけないことや変えていかなければならないことはなんだろう。

今から、常に良いものを作り上げていこう、自分達で努力しようという気持ちを持って、いろいろなことに取り組んでいくこと。

まず、自分から動かなければならないと思う。

8 働く人から学ぼう ～職場体験を通して～

職場体験活動などを通して、社会の中で活躍する人々に接し、みなさんは働くことの喜びの大きさや責任の重さなど、たくさんのことに気付いたことでしょう。今回は学んだことを友人と発表しあい、考えを深めましょう。

職場体験を終えて



職場体験で出会った素晴らしい出来事をみんなに伝えましょう。

班員のエピソードを書いてみよう

1

2

職場体験から学んだこと



話し合ってみよう

体験してみて仕事の内容や気付いたことを下の表に整理して記入し、班員と発表しあいましょう。

	自分（体験前：黒、体験後：赤）	班員
職業		
仕事の内容		
仕事のやりがい		
大変なことは何か		
○役に立てる 自分の能力 △足りなかったこと △は事後のみ		

職場体験をして感じたこと	班員の話聞いて考えたこと

『働くために必要なこと』とは



働くことにはどんな意義があるのでしょうか。また、どのような課題があり、その解決に向けて今、できることは何でしょうか。自分の考えをまとめてみましょう。

『働くために必要なこと』は？
自分の考えをまとめてみよう

- ①職場体験の取組を通して、「働く」ことについて、どのように感じたり、考えたりしましたか。

- ② ①の働くことを考えたときに、職場体験を通してどのような課題が見つかりましたか。

-
-
-

- ③なぜ、それが課題だと思ったのですか。

- ④職場体験や本時の取組を通して、これからの日常生活を考えよう。

a : 将来の生き方がよりよいものになるために、どのような力が必要だろう。

b : そのために、今やらないといけないことや変えていかなければならないことはなんだろう。